



万博・カジノ中止 くらし・憲法を守るため 日本共産党は全力でがんばります



発行
日本共産党
寝屋川市議員団
072-824-1181
FAX: 824-7760
No.3517

寝屋川市議員

中林かずえ
宝町 4-33
090-3944-8385
寝屋川市議員

松尾信次
下木田町 12-6
090-3056-9924
寝屋川市議員

西田まさみ
石津中町 30-3
090-9713-3588
前寝屋川市議員

太田とおる
高柳 2-49-2
080-3818-9722

あけましておめでとございませう
2025年を希望のある年に
日本共産党寝屋川市委員会



清水ただし

私、清水ただしは、来年夏の参議院選挙で奮闘します。だれもお金の心配なく、笑顔で暮らせる大阪をつくるために全力でがんばります。

先の総選挙では自公政権が過半数割れに追い込まれました。立役者は間違いなく裏金スクープの赤旗と日本共産党の論戦でした。日本共産党が議席を減らしたことは残念ですが、今度の国会の状況を見ると、議

席の上でも与野党が拮抗し、これまでのような数の力で悪政を押し切ることができなくなっています。選択的夫婦別姓の実現や紙の健康保険証廃止をやめさせる展望も広がっています。
アメリカ言いなり財界べったりという自民党政治の歪みを大元からただし、暮らしと平和を守る日本共産党の役割を語り広げ、今度こそ躍進を勝ち取りたいと思っています。



松尾 信次

市会議員1年半が過ぎました。

議員活動は8年ぶりで、勉強が必要ですが、私は市民生活の実態と施策の現状を調べ、市議会では可能な限り具体的に問題点の改善を市に求めています。

国政と大阪府政の改革が必要です。危険な万博・カジノの中止、軍事予算の削減、大企業優遇を改め、国民のくらしを守る。憲法9条を守り、戦争も核兵器もない世界へ奮闘する。

7月の参議院選挙で日本共産党前進へがんばります。



西田まさみ

議員に返り咲いて2年目。昨年は、地域の皆さんと香里園駅前に公衆トイレの設置を求める取り組みや、市内にベンチの設置を求める取り組みを進めてきました。

議会の一般質問でも繰り返し質問、要望し、市の回答も少しずつ前向きになってきました。

今年も市民の皆さんの命と暮らしを守り、いつまでも住み続けたいと思える寝屋川市にしていくため、市民の皆さんとともに要求の前進に向けて頑張ります。



中林かずえ

物価高騰で暮らしが大変です。今年は参院選挙です。

シングルマザーや子育て世代の最大の課題である世界一高い日本の受験費用、入学金、授業料の引き下げを日本共産党と一緒に実現させましょう。

高齢者が安心して年を重ねることができ医療や介護の充実と最低賃金一五〇〇円、「雇用は正社員が当たり前」の実現に皆さんとがんばります。

今年も、地域の皆さんの困った時の「かけこみ寺」として全力を尽くします。



太田とおる

総選挙お世話になりました。自公が、過半数割れして要求が実現する可能性が高まっています。選択的夫婦別姓や給食費の無償化など動き始めています。掲げた公約実現にこれからもがんばります。

大阪では、統一国保料で日本一高い保険料となりましたが、保険証廃止の中止も合わせて社会保障の充実へ、万博・カジノの中止でくらしを守る政治への転換を求めてがんばります。これからご支援もよろしくお願ひします。

一般質問する西田まさみ議員



職場実態に見合った職員採用・人員配置を 非正規職員の処遇改善は急務

市は、働きやすい職場環境の改善を進めるべき

12月市議会 西田議員が求める

市役所職員について

2024年4月1日の寝屋川市役所の職員数は、2224人、10月には職員採用があったので、10月1日の職員数は2294人です。

職員数は増えているのですが、職員に占める非正規職員の割合が高

く、直近3年で見ると2022年43、7%、2023年45、3%、2024年45、7%と

なみに10月1日では46、7%と年々非正規職員の割合が増えています。

昨年12月には、非正規職員50、4%、正規職員49、6%と正規と非

正規の割合が逆転したこともありました。

地方自治法の第1条の2は、地方自治体は「住民の福祉の増進を図ることを基本とする」とうたっています。

その仕事は「任期の定めのない常勤職員」(正規職員)が行うことを基本としています。

しかし、全国の自治体は、「行革」による人件費削減のため、臨時・非常勤職員を増やし、低賃金で住民サービスに従事させ、正規職員から臨時・非常勤への置き換えを進めてきました。

寝屋川市役所も例外ではなく、先ほど述べたような状況です。

職員組合が秋季年末闘争に向けて行ったアンケートには、職員を増やしてほしいという声が多く上がっています。

「会計年度任用職員を正職にして、正規職員を増やしてほしい」ともともと残業があったのに人が減ってさら

に大変になった」「1か月の残業時間45時間以内を厳守するには人員が不足している」「仕事量が増えているのに残業してはいけな

いといわれ、正規職員が増えないことには仕事が終わらない」「担当職員も足りないが、管理職も足りていない。管理職が2つの担当を掛け持ちして大変」

などなど、どこの職場でも職員増を求める声があがっています。

●質問

市として今後どのように職員配置を進めていくのか見解を求めます。

◇答弁

今後の職員採用については、複雑化・多様化する市民ニーズに対応し、総人件費管理計画にもとづき、市民負

非正規職員の処遇改善を

いまや任期付職員や会計年度任用職員がいなければ寝屋川市の業務が回らない状況にあります。非正規職員の待遇改善は待ったなしの課題であると考えま

す。学童保育の現場からは、「慢性的な指導員不足で職員は疲弊している、現在は最高の児童数に最小の指導員数で子どもの発達と安全を守っている。指導員が長く働き続けられる

担当の割合を増やすことなく、正規職員、非正規職員の組み合わせにより引き続き、行政需要に適切に対応できる体制整備を進めていきます。

再質問で西田議員は、職場、職員の声を聞き、実態に見合った職員体制にするため正規職員の増員を強く求めました。

よう処遇改善を希望する」と声があがっています。

また、保育所の延長保育士からは、「保育現場でも欠員が出ている。特に、延長保育士は変則的な勤務のため、募集しても応募が少なく、欠員状態にある。その穴埋めもしているため保育所では数種類もの時差勤務が行われていて大変」と切実な声があがっています。

●質問 非正規職員が安心して仕事に専念できるように処遇改善することを求め見解をお聞きします。

◇答弁 非正規職員の処遇改善については、国の法改正等を見据えた対応を進める一方で、事務系の会計年度職員の新たな募集方法について検討を進めていきたい。

2024年度度低所得者支援給付金

1. 支給対象世帯及び支給額

①住民税非課税世帯

1世帯3万円(見込み 37,000世帯)

②住民税非課税世帯における子育て世帯児童ひとり2万円(見込み 5,100人)

※基準日2024年12月13日

※②は18歳以下の児童

2. スケジュール

・国からの詳細が示され次第すみやかに支給。

3. 支給方法

・2024年度に実施した低所得者支援給付金と2023年度価格高騰重点支援給付金を世帯主名義の口座で受給した世帯には申請しなくても支給されます。

